

FULL SWING 01

相模原市議会議員

えのもと 揚助

議会報告

議員としてスタート
議会質問にて
信念を貫く



明日の相模原を築く会

Build tomorrow SAGAMIHARA



議員となった『今』こそ ブレることない『覚悟』でのぞむ

『えのもと揚助』は、前回落選から4年の間、欠かすことなく街頭活動や地域をまわり、市政を訴え、市民の方々の声を聞いてきました。一人から始めた議員への挑戦は、一人また一人と仲間を生み、多くの仲間の『本気と笑顔』で4月の選挙戦を戦いました。そして、多くの市民の皆様から投票をいただき、相模原市議会議員として、本市の議決機関の一員となりました。



情熱とマイク1本を手にスタートした政治活動。

これ以上ない「本気の政治」に徹することこそが、『選挙に行きたくなる政治』の唯一の道と信じて、来る日も来る日も、政治理念と自らの政策を訴えてきました。

『演説なんて選挙の時だけ!!』、『名前の連呼ばかりで主張が伝わらない!!』、『中身がない!!』

そんな市民の皆様の声に愚直に応え、信頼と期待が集まった政治を取り戻すには第一に選挙公約を守ること、そして街頭に立ち訴え、市民に寄り添うことが民主政治の原点との思いです。年間500回を超える街頭演説をしてきました。時には声が出なくなり苦しいときもありますが、それでも私はブレません。市民の皆様を信じて、正々堂々と「政治」を伝え続けます。

それが「選挙に行きたくなる政治」に必要不可欠と思うからです。

相模原市議会議員

榎本 揚助



質問のはじめに 議員としての姿勢を宣言

二元代表制の一方の一員として
納税者の皆さんが納得してくだ
さる議会活動に徹します。

そして、首長、行政に対しては
是々非々の姿勢で臨んでまいり
ます。

そして、私たち為政者は市民の
皆さんが納めてくださっている
税金によって仕事をし、生活させ
てもらっている公僕であります。

その意味を肝に銘じながら、
議会で活発な議論を展開してま
いります。

一問一答で、市長へ問う 政治にとって市民が求めるものは

えのもと揚助議員は一問目の冒頭、『政治にとって、もっとも市民から求められることは、約束を守ること、言ったことを実行に移す実行力だ』と語り、市長の選挙公約である『つくる。幸せ色あふれる相模原政策集2019』について、質問を始めました。

議会の内容を
動画で見よう



議会の様子は、QRコードから相模原市議会 HP より動画でご覧になれます。
リンクの動画、6 時間 10 分 08 秒後頃から『えのもと揚助 議員』の質問が始まります。

えのもと揚助 質問(要旨)

1 問目 **つくる。幸せ色あふれる
相模原政策集 2019 について**

市長の選挙公約に書かれている政策から

- 市立高校の設置
- 敬老パスの導入
- 習熟度別の授業の導入
- 中学校給食の見直し

についてを挙げ、これらの政策も市民の皆様との約束であるとして

市民と市長をつなぐ公約を守る決意を問いました。

2問目出てきますが、本市の財政が厳しい中で、この4つは**目玉公約**と位置づけられます。
市民に必要なものであり、**莫大な財源が必要**です。
実現すべきではありますが、実現することは非常に難しい。
今後、**どう進めていくのか、しっかりとチェック**していかなければなりません。



市長の答弁(要旨)

- ①統一地方選挙で掲げた政策については、6月に示し^{※1}**所信表明に反映**。
- ②^{※2}**次期総合計画**の基本計画や実施計画、予算等に反映させ、政策を推進。
- ③市民の皆様との対話を大切にし、真摯に誠心誠意取り組む。

えのもと揚助 統括・提言(要旨)

所信表明に、政策(選挙公約)を盛り込んだとの答弁

- 市民の民意が詰まっている政策だということを忘れないでいただきたい。
- 政策の中でも、「**おいしい給食で子供たちに幸せを。中学校給食を見直します**」について**非常に必要な政策と強く要望**！

[ちょっと補足・解説]

※1『**所信表明**』には、ワンストップサービスや都市内分権は盛り込まれている。目玉政策であった市立高校の設置、敬老パスの導入については含まれていない。

※2『**次期総合計画**』とは、前市長の頃より市で掲げている基本構想の実現に向け、全ての政策に共通する本市としての基本的な取り組みの姿勢を定めたもので、選挙で触れた個別、具体的な政策について書かれたものではありません。

町の力は人の力、
人を作り上げているのは教育
そして**教育の根幹は食育**
これが**次世代への必要な投資**です。

**政策を市民の皆さんと約束した通り守るんだという
今の決意を持続していただきたい！**



2 問目 財政基盤の強化について

住民サービスの充実を図るためには、財政基盤の強化が欠かせない大きなテーマ

①市の財政状況の現状分析と本市が掲げる②重点産業政策とその効果について

市長の答弁(要旨)

①市の財政状況の現状分析

- 財政は経常収支比率が高く、自由に使うことのできる**一般財源には余裕がない状況**であり、リニア中央新幹線新駅設置にかかる都市基盤の整備も控え**今後さらに厳しい**に状況なることが想定される。

[本市が持続可能な都市経営を推進していく為]

- 徹底的な行財政改革。
- 本市の優位性を活かしたトップセールスによる企業誘致を積極的に行うなど、歳入の根幹をなす、市税の確保に取り組む。

②重点産業政策

[産業振興ビジョン2025と産業集積促進方策(ステップ50)]

- 戦略的な企業誘致により税収増や雇用創出につながり積極的に取り組んでいる。

えのもと揚助 統括・提言(要旨)

産業振興政策により雇用へ投資し、効果を上げてきたとのことであるが…

平成29法人市民税は『約68億円』と相模原は※最下位!

政令市になってからも、法人市民税収は約59億円～約78億円の間を推移し、他政令市より大幅に低い税収です。

※〔政令指定都市の法人市民税 決算額〕

第1位 大阪市(2735003人)	約1300億円
⋮	
第14位 岡山市(719792人)	約115億円
第17位 静岡市(700384人)	約110億円
第19位 熊本市(739004人)	約100億円
第20位 相模原(722640人)	約 68億円

役所だけでなく、**民間の皆さんの様々な発想・声も取り入れながら、産業政策を有効なものにしていくために私も議会で、今後 提言させていただきます。**



3 問題 市民の負担増と市長のボーナスUPについて

市民から一番厳しい声は、市長と議員のボーナスUPの声でした。

それはなぜか？

- 公民館の使用料の**有料化**
- ごみの収集が**3回から2回へ**
- ジム、プール、施設の**料金が値上げ**
- 小学校・中学校の**給食費負担増**
(消費税の増税に伴って値上げ)

近年、財政が厳しいという理由で
市民の負担増

[市長ボーナス]

H27年度 **573万4,096円**

H30年度 **609万8,165円**

4年間で **36万4,069円アップ**

H27年度からH30年度の間を見ても
市長のボーナスUPが続く

**市長に聞きます! 今までは毎年ボーナスを上げ続けてきたが、
『私はやらないということ』をはっきりと明言していただきたい!**

副市長や教育長、特別職、一般の市職員のことは聞きません!

市長の答弁(要旨)

ボーナスの支給割合は、国の特別職・一般職の期末手当及び勤勉手当の状況を勘案し、**本年も国との均衡を考慮して判断**して参りたいと考えてます。

再質問

市長は国会議員時代から、誰よりも熱心に、まずは政治家自身が身を切ることを理念哲学として訴えてきた。それが立場が変わると変わっちゃうんですか？

総務部長 市長からもありました通りです。また、受益者負担の割合は近隣都市の均衡などを踏まえ適正な水準としている。

再々質問

受益者負担の原則もわかっています。これから、市民の皆さんに負担をお願いしなければならない時代に入っていることも認識しています。

- 厳しいと言っている側が自分たちのボーナスを上げ続ける現状。
- 市民は到底、理解・共感してくれるわけがない。

もう一回市長から答弁聞かせてもらえますか？

総務部長 国の特別職・一般職の期末手当、勤勉手当の状況を踏まえて判断します。

再々々質問

北海道の鈴木知事は就任後にさっそく自らの給与・期末手当・退職金を3割削減。身を切り行財政改革に向けた決意を示している。

- 他にも全国の首長でやっている方が沢山いらっしゃいます。
 - まず為政者が自らの身を切る。そうでなければ市民は応援してはくれない。
- もう一度市長から答弁いただけませんか？無理だったら結構です。

総務局長…(以下略)

※詳細は前述のQRコードから動画でご覧ください。

市長の覚悟で自らが身を切る姿勢をアピールすることは必要だと思えます。
これまで、毎年市長のボーナスを上げ続けてきましたが、今回はそうならない**決断**をしていただきたい。



4問目 市民に開かれた政令指定都市相模原について

今の相模原は政令市の役割を果たしているのか疑問と発言された意味は？
また、政令市の役割や目指す姿について

市長の答弁(要旨)

- 『市民生活の利便性の向上を実感できない』といった声があることから、これらを相対的にとらえ、本市が今後取り組みべき課題として述べた。
- 政令市として地方分権を推進し、本市のポテンシャルを活かした街づくりや区役所の更なる機能強化などにより市民満足度を向上し、市民の皆様が誇れる都市を目指す。

えのもと奨助 統括・提言(要旨)

市長の住民自治を充実させていこうという考えに共感します。

ワンストップ行政サービス

縦割り行政を改め、権限移譲をして行政機構改革に踏み込まざるをえないことから相当な覚悟が必要だと思います。

都市内分権とは

例えば、
2都市を比較

高知県
人口70万人

[34の市町村に分権]



34人
市町村長

比較

1人
市長



相模原市
人口72万人

市長は1人、3区長は市民から選ばれた公選職ではなくて市の職員です。都市内分権が必要。

これから区役所機能を強化や都市内分権を進める中で、重要なことは区長を公募で選ぶなど。市民の側を向いて区政に当たってくれる公募区長しかできないと思います。是非検討して頂ければと思います。



☆議会報告作成にあたって

この議会報告は、6月定例会議本会議の一般質問を終え、その内容を、しっかりと中央区の皆様、『わかりやすく』お伝えするために、『えのもと奨助議員』本人の要望により冊子で作成したかったのですが、予算の都合でホチキス製本できず、このような形となりました。

議会の報告をすることは、議員としての役割の一つです。今後も、しっかりと市政・議会の内容をお伝えして参ります。多くの市民の皆さんに読んでいただき、市政を知る機会のお役に立てれば幸いです。

<編集長>

後援会『明日の相模原を築く会』

一緒に良い相模原を目指しませんか？

この議会報告は、『相模原市議会議員 えのもと奨助』の後援会として『明日の相模原を築く会』が発行しています。発行にあたっては、政務調査費を一切使わず、自費にて作成しています。

『明日の相模原を築く会』では、後援会への加入やご支援いただける方を随時お待ちしています。どうぞ一緒に明日の相模原のために、えのもと奨助議員と活動していきましょう。

ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

☆ご連絡：えのもと奨助議員と座談会を予定しております。詳細は次号！

明日の相模原を築く会
Build tomorrow SAGAMIHARA

相模原市議会議員
えのもと奨助 議会報告『Full swing 01』

発行日：2019年8月1日

[事務所] 〒252-0242
相模原市中央区横山 1-1-13 (2F)

TEL. 042-707-0955 FAX. 042-707-9363
✉ yousuke.enomoto.sagami@gmail.com

f 明日の相模原を築く会
@asuno.sagamihara

[えのもと奨助オフィシャルサイト]

<https://www.enomoto-yousuke.com/>

